

令和元年度 第2回大府市総合計画審議会(第1部会)要点記録

日 時 令和元年5月10日(金)

13:30~15:00

場 所 大府市役所 5階 委員会室1

出席委員

会 長	名古屋市立大学	三浦 哲司
委 員	大府市社会福祉協議会	大山 尚雄
委 員	大府市スポーツ協会	梶谷 修
委 員	自治区	菊池 勇人
委 員	大府市医師団	児玉 真澄
委 員	大府市教育委員会	竹中 万里
委 員	大府市文化協会	館内 三郎
委 員	コミュニティ推進協議会	山崎 千晶
委 員	大府市国際交流協会	山田 恵子

行政

副市長	山内 健次
教育長	宮島 年夫
健康都市推進局長	吉兼 智人
総務部長	久野 幸信
市民協働部長	丸山 青朗
福祉子ども部長	鈴置 繁雄
健康文化部長	今村 昌彦
教育部長	木學 貞夫
議会事務局長	相木 直人
高齢障がい支援課長	近藤 恭史
健康増進課長	阪野 嘉代子
環境課長	猪飼 健祐
青少年女性課長	間瀬 恵
保育課長	内藤 尚美
学校教育課長	浅田 岩男
秘書人事課長	白濱 久
財政課長	信田 光隆

事務局

企画政策部長	新美 光良
企画政策課長	福島 智宏
企画政策課企画係長	川出 陽一
企画政策課企画係主任	鈴木 康幸
企画政策課企画係主事	青木 大

【議事】

(1) 前回の要点確認及び基本計画施策シートの修正点について

- ・事務局から概説

(2) 基本構想（案）について

(会長)

基本構想の位置づけについて確認する。

基本構想というものは基本計画の上にあるもの。構想をもとに計画を練ることとなる。抽象的ではあるが、理念等がまとめられているものである。

基本構想を実現するために、具体的な内容の基本計画施策シートがある。

では「基本構想（案）」についてご意見・ご質問があればお願いします。

(委員)

資料2、1頁の基本理念の中で、最後の段落のみ主語がない。

最後の段落は「築き上げていく」という内容のため「本市は」が適切ではないか。

(事務局)

「本市は」で修正したい。

(会長)

今のご指摘は重要なポイント、総合計画は行政計画ではあるが、主体は市だけではない。各団体や企業等、担い手が様々ある。計画をそれらの主体に発信し、実行に移せるかが問われる。

(委員)

案1「未来へ つなぎつむぐ 健康都市」の「つなぎつむぐ」は動詞が2つ並んでおり違和感がある。代替案として「未来へつなぐ えがおあふれる健康都市」を提示する。

案2「未来を駆ける サステイナブル健康都市おおぶ」の「サステイナブル」は市民誰でも理解できるのか。

案3「語り継がれた健康都市 語りつくせぬ健康都市」は都市像としては長いと感じる。

案4「健康の花が咲く都市 おおぶ」は持続可能や未来というイメージが浮かびづらい。

案1の代替案を導入したい。

(事務局)

4案は事務局やおぶちゃんの作家にもご提案いただいた。

しかし、4案から選ぶのではなく、先ほどの意見のように新たな言葉を入れたり、案同士を組み合わせたりしても良いと考えている。4案にこだわらず新しいものをご提案いただきたい。

(会長)

先ほどのサステイナブルがわかりにくい等の率直なご指摘でも良い。他の意見もいただきたい。

(委員)

将来都市像については、最終的には誰がどう決めるのか。

(事務局)

最終決定は事務局で行う。しかし、後の第2部会でも同様に議論してい

ただき、市議会からも意見をいただいてからの決定となる。

(会長)

将来都市像の案については、過去の内容も載せている。それらを参考にして大府といえどというフレーズや生活者の感覚からの案等、様々な意見をいただいてそこから良いものを作りたい。

(委員)

案4をベースにして将来について言及した都市像にしたい。

「未来に花咲く 健康都市」を入れてほしい。

(事務局)

参考とさせていただく。第2部会でも同様「未来」「持続可能」「つなぐ」という言葉が提案されている。これらは今回の総合計画のキーワードになるのではと考えている。たくさんの意見をいただきたい。

(会長)

将来像の意見も引き続きいただきたいが、その他の項目も含めてやりとりをしたい。議題1を含めて意見があればお願いしたい。

(委員)

資料2、5頁、政策目標1の「磨き上げる」という言葉は現在の取組だけに集中していると見える。新しい取組が入らないのではないか。

ハード面の整備には言及されているが、ソフト面はどうか。

(事務局)

「磨き上げる」という表現は再検討としたい。

政策ではハード面もソフト面も行う予定。ソフト面にも言及しているが、ソフトという主語はなく、ハードは主語の記載がされている。ソフト面も主語をつけて記載するか、ハードやソフトという言い方に限定しないようにするか、検討する。

(委員)

施策シートにある前回会議分の内容のP36「不登校児童生徒」の目標値ゼロの変更はしないか。ゼロという目標値に違和感がある。

不登校児童生徒の家族はゼロが目標になると「つらい」という声もある。

ゼロは強い圧力となるため、再度検討いただけないか。

(学校教育課長)

現状値は小学校0.6 中学校4.7となっている。目標値はゼロ。

不登校児童の定義「心理的・情緒的・身体的・社会的要因により登校しない、したくてもできない状況にある。年間30日以上欠席(病気や経済的理由を除く)」学校以外の代替施設であるレインボーハウス等に通っており、それは登校とみなしている。大府市は上記の生徒が多く存在するため、それらを登校とみなし、不登校児童生徒の目標値をゼロに設定している。

(委員)

他の目標値は8割等現実に沿った値になっているが、不登校の目標値ゼロは実現性がない。数年でレインボーハウスが発展し、家庭環境が改善されるということは想像しづらい。小学校はほぼゼロに近い数値であることからゼロにしたい気持ちはわかるが、それでもゼロではなく8割減に変更できないか。現実的な数値に設定していただきたい。

(事務局)

検討させていただく。限りなくゼロにしていきたいというスタンスでゼロを提示している。

(会長)

また、議題全体で意見をいただきたい。

(委員)

資料2、2頁、4つの健康の図はとても良いと思う。健康都市経営を基盤に、まちのことがあり、未来が見えている。同じく6頁、政策目標9、産業振興も含めた強いメッセージを感じ、期待できる。

(会長)

施策シートについて、SDGsの17項目はすべて関連付けたいという思いで良いか。

海洋資源の項目があるが、大府市は海がなく川に当てはめているが、直接的な関連はない。事実確認をさせてほしい。

(事務局)

SDGsは17項目あり、その下に169のターゲットが存在する。その中で関連付けられるものは施策シートに載せている。

それぞれの施策の周辺に関連付けたSDGsを記載している。

(委員)

SDGsが誰でも知っている事のように載せられていること自体に違和感がある。市民の目に触れる施策であれば、まずはSDGsの説明が必要ではないか。

(会長)

SDGsそのものを大府市としてどのように市民、事業者等に発信していくか。事務局から何かあればお願いしたい。

(事務局)

今回は基本構想と基本計画のシートとして別々で提示したが、全体にまとめる際には序論、基本構想、基本計画の順になる。

序論でSDGsは総合計画策定、実現の際に持ち合わせている視点として触れる。加えて基本構想と基本計画の間に説明を入れる予定。

次の会議で出せるように作成している。

(会長)

ESD(2014年名古屋で会議)の後にSDGsが出来たという流れである。ESDの影響の環境対策の延長という認識をされがちだが、実際SDGsは環境に対する取組に限定しておらず、「誰も置き去りにしない」をキーワードに人権関係の内容もあるため、大府市としてどうSDGsを根付かせていくかが必要ではないか。

【その他】

(事務局)

- ・今後の予定について報告

閉会

以上